

イタイイタイ病・公開講演会

予約不要・入場無料

“若手法学者とゼミ生が、さらなる食の安全安心を求めて、
イタイイタイ病からの教訓について、訴えます!!”

とき 2015年9月19日(土) 午後1時30分～4時(開場:1時)

ところ 富山県民会館(富山駅南口から徒歩約15分) 6階611号室

講師 雨宮洋美氏(富山大学経済学部准教授(開発法学・民法))とゼミ生

演題 『イタイイタイ病から考える現代的課題
—特に食の安全の問題について—』

ゼミ生 『イタイイタイ病を伝えるために私たちがすべきこと』

司会 寺西秀豊氏(富山協立病院)

概要 2009年から学生とイ病の共同研究を開発法学の手法により行っている。研究からは、イ病についての歴史認識、義務教育・教科書での扱われ方等の根本的な問題、そして何より現代にも

残るカドミ腎症、全国的なカドミウム米による被害等の課題が山積することがわかっている。特に国民的なカドミウムの腎臓蓄積、農業の民営化政策による検査体制の移行等は重大なことと認識され、多くの方々に理解していただきたいことである。法を学ぶ人間育成として生きた教材となりうるイ病事件であるが、実際には多くの障害により学生の研究は困難を極めている事実もあえてお伝えしたい。

開発法学とは

「開発から発生する法に関わる諸問題に対する理論研究をフィールド調査の手法も取り入れて行い、政策提言も射程に入れた学問領域」



(2014年ゼミ合宿 立山グリーンパーク吉峰)

主催 日本科学者会議富山支部

問合せ先: 行枝 亮 (yuku-mkkt(at)m3.spacelan.ne.jp)、林 節男 (sehaya2529(at)yahoo.co.jp)